



令和2年4月20日 (月)  
発行所 中部教育事務所

## 年度初頭あいさつ

### 「春が来たのに・・・」

大淀川の堤防に今年も満開の桜が咲きました。桜並木をジョギングや散歩する人たちを見ながら、何も変わっていないような錯覚を起こしてしまいます。

令和2年度のスタートは、これまで誰も経験したことのない未曾有の事態となりました。いつもの学校であれば、新しい同僚や子供たちとの出会いがあり、活気に満ちた声が校舎内に響くことが常であったのに… まさか、こんな事態が訪れようとは…。

私たち中部教育事務所にも、この4月に15名の職員が仲間入りし、様々な研修や各種訪問などを行おうと張り切っていたのですが、ほとんどが中止・変更を余儀なくされ、計画の見直しに追われています。

昨年度末に始まった新型コロナウイルス感染症の拡大によって、世界中の人々の健康と安全が脅かされ、生活が一変しました。感染者、死亡者の数も未だに増加を続け、終わりが見えません。自粛自粛の中、新型コロナウイルス感染症がもたらす影響はあまりに甚大で、どこかやるせなさを感じて、あきらめてしまいそうな気持ちになります。

しかし、そんなときに私はこの言葉を思い出します。

### 「冬来たりなば春遠からじ」

暦の上では春ですが、この社会の状況は今まさしく「冬」。本当の「春」はまだまだ先です。しかし、今「冬」ということは、必ず「春」が来ます。水泳の池江璃花子さん(当時18歳)が白血病の診断を受けた後、ツイッターで「私は、神様は乗り越えられない試練を与えない、自分に乗り越えられない壁はないと思っています」と述べ、私はその精神力のすごさに素直に驚き感動しました。

この冬を耐え抜くことで、必ず春は来ます。

「未来を切り拓く心豊かでたくましい宮崎の人づくり」の舞台は、言うまでもなく「教育」です。

今こそ、「教育」に携わる私たち大人がともに手を携え、強い精神力と気概をもってこの試練に耐え抜きましょう。

苦境を乗り越えたその先に、これまで経験したことがない春が迎えられることを信じて・・・。



中部教育事務所 所長 北林 克彦

## 令和2年度 職員紹介

所長	北林 克彦
副所長	山下 辰弥
総務課長	天辰 直樹
教育推進課長	小川 太志



【総務課】 ※ ◎印は担当リーダー

### ■ 宮崎地区総務担当

◎長谷 文恵、大森 香代子、北代 佳輔、定 憲聖  
大田原 聡子

### ■ 南那珂・児湯地区総務担当

◎森川 純、安影 和寿、坂元 一正、今村 絵里子

### ■ 学校マネジメント担当

畑中 勉、由浅 公章

【教育推進課】 ※ ◎印は担当リーダー

### ■ 家庭・地域教育担当

◎中村 敏彦、日高 輝海、佐藤 賢、加藤 健一郎  
築地原 静

### ■ 宮崎地区学校教育担当

◎高松 泰、安部 泰弘、大峯 隆史、宇ノ木 龍世  
松木 裕子

### ■ 南那珂地区学校教育担当

◎川崎 昌彦、吉行 順一、松田 奈緒子、津曲 康夫

### ■ 児湯地区学校教育担当

◎川島 博嗣、須見 かおる、宮本 朝美、上西 憲太郎

## 補充学習に有効活用

### 「教育ネットひむか」学習サイトの紹介

緊急事態宣言が発令されている全国7都府県に加え、宮崎県内でも新型コロナウイルス感染症対策のために、臨時休業が続いている自治体が出ております。児童生徒の家庭学習の充実を図るために、各学校においては登校日等に学校で準備された課題を配付されていると聞いております。この取組を継続していただきますとともに、インターネットを介して学習できるサイトがあることをご紹介ください。

教育ネットひむか [himuka.miyazaki-c.ed.jp](http://himuka.miyazaki-c.ed.jp)

「ひむかトピックス」の【小中学校臨時休業中の学習おすすめサイト】をご確認ください。